

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 17 年 5 月 26 日 (2005.5.26)

【公開番号】特開 2003-137915 (P2003-137915A)

【公開日】平成 15 年 5 月 14 日 (2003.5.14)

【出願番号】特願 2001-339043 (P2001-339043)

【国際特許分類第 7 版】

C 08 F 2/44

C 08 F 265/06

【F I】

C 08 F 2/44 C

C 08 F 265/06

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 7 月 22 日 (2004.7.22)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

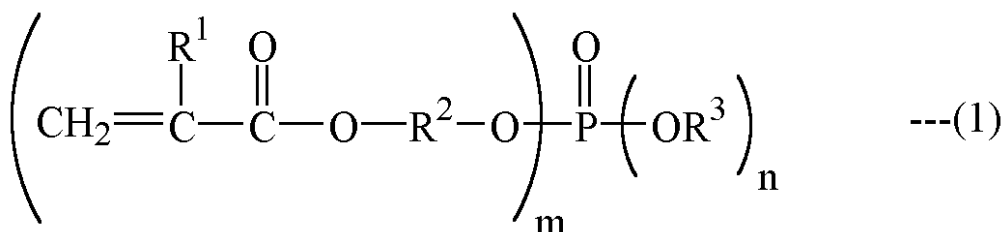
【請求項 1】

メタクリル酸メチルおよびラジカル重合可能な官能基を有する非ハロゲン系リン酸エステルを含有する単量体混合物にさらに、メタクリル酸メチルを主体とする不飽和単量体の重合体を存在させ、この重合体含有混合物を重合させてなることを特徴とするメタクリル酸メチル系樹脂。

【請求項 2】

前記非ハロゲン系リン酸エステルが下記一般式 (1)

【化 1】



(式中、 R^1 は水素原子またはメチル基を表し、 R^2 は炭素数 2 ~ 8 のアルキレン基を表し、 R^3 は水素原子またはフェニル基を表す。 m は 1 ~ 3 の整数を表し、 n は 0 ~ 2 の整数を表し、 $m + n = 3$ である。)

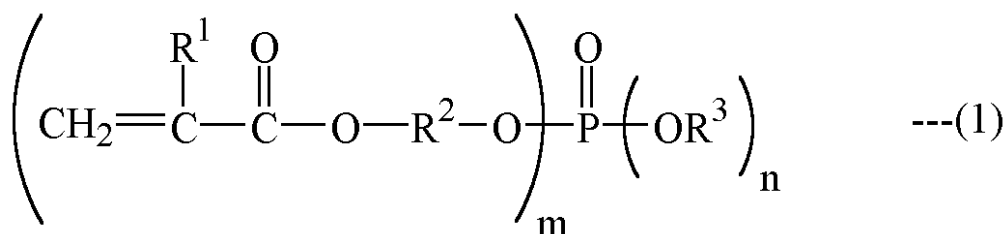
で示される化合物である請求項 1 記載のメタクリル酸メチル系樹脂。

【請求項 3】

メタクリル酸メチルおよびラジカル重合可能な官能基を有する非ハロゲン系リン酸エステルを含有する単量体混合物にさらに、メタクリル酸メチルを主体とする不飽和単量体の重合体を存在させ、この重合体含有混合物を注型重合させることを特徴とする請求項 1 に記載のメタクリル酸メチル系樹脂の製造方法。

【請求項 4】

前記非ハロゲン系リン酸エステルが、一般式 (1)



(式中、 R^1 は水素原子またはメチル基を表し、 R^2 は炭素数2～8のアルキレン基を表し、 R^3 は水素原子またはフェニル基を表す。 m は1～3の整数を表し、 n は0～2の整数を表し、 $m + n = 3$ である。)

で示される化合物である請求項3に記載の製造方法。

【請求項5】

メタクリル酸メチル40～97.5重量%、前記非ハロゲン系リン酸エステル0.5～40重量部および前記重合体2～20重量部を含有する混合物をセルに注入し、熱処理して重合させる請求項3に記載の製造方法。